

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
ダーク&ミスコミュニケーション		選択	1	2.3	後期 (隔週)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
鈴木 真吾	B309	shsuzuki	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>人間コミュニケーション学科のディプロマポリシーにある「豊かな人間観」と「多様性を尊重する姿勢」を育むため、多角的な視野を培い、異なる背景や視点を尊重できる、多様な自己表現・コミュニケーションの実践を体験する。</p> <p><概要>本科目は1年次に修得したコミュニケーションの基礎を発展させて、多様なコミュニケーションの実態を体験させて、学生の視野・視座の拡充・柔軟を促す学際的科目群である。この授業では、「ダーク」と「ミス」、すなわち不健康で不適切、社会と適合しないコミュニケーションが如何なる特徴・功罪を具備しているか、様々なワークを通して体感してもらい、自分自身の情緒と感性を豊かにさせ、適切な社会実装への展開を考察していく。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input checked="" type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他				
学習上の助言	<p>本科目のテーマについてはコミュニケーションの暗部を扱うことになる。多様なコミュニケーションの実際を知り得たい興味関心で受講してよいが、社会で悪用せず、社会の多様性を深く知りたいという知的好奇心を前提として、積極的に楽しんで受講してもらいたい。</p>				
教科書	特に指定しない。				
参考書	<p>「パーソナリティのダークサイド-社会・人格・臨床心理学による科学と実践」Virgil Zeigler-Hill & David K. Marcus (著) 下司・阿部・小塩 (監訳) 川本・喜入・田村・増井 (訳) 福村出版</p>				
外部教材	講師により適時紹介する。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	コミュニケーションの暗部に関する実際や理論が多様であることを認識し、自身の自己表現を成長させることができる。			HC(1)、(3)、(4)	
②	コミュニケーションの暗部に関する多様な見識を体験して、実際の社会場面で適切に表現・応用する準備学習とすることができる。			HC(2)、(6)	
③					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	本科目全体の説明 (オリエンテーション)。 多様なコミュニケーションの暗部を学ぶ① - 自己愛が強く冷淡な人々	講義・演習	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。	3	
2	多様なコミュニケーションの暗部を学ぶ② - 権威・パワーを振りかざす人々	講義・演習	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。	4	
3	多様なコミュニケーションの暗部を学ぶ③ - サディズム・マゾヒズムに耽溺する人々	講義・演習	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。	4	
4	多様なコミュニケーションの暗部を学ぶ④ - リスクと刺激を求めてやまない人々	講義・演習	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。	4	
5	多様なコミュニケーションの暗部を学ぶ⑤ - 完璧主義に苛まれる人々	講義・演習	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。	4	
6	多様なコミュニケーションの暗部を学ぶ⑥ - 気分・感情のアップダウンが激しい人々	講義・演習	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。	4	
7	多様なコミュニケーションの暗部を学ぶ⑦ - 不安・落ち込みに住まい続ける人々	講義・演習	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。	4	
8	多様なコミュニケーションの暗部を学ぶ⑧ - 低い自尊心が染みついた人々	講義・演習	授業内容について整理し、体験を小レポートでまとめる。	3	
試					

【2024 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	100	0	0	0	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	10	0	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	20	0	0	0	20
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10
	問題を発見・解決する力	0	20	0	0	0	20
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①		授業内容について、テーマごとに行う体験等を踏まえて、自己および社会の振り返りを踏まえてレポートにまとめる。各回 12.5 点×8 回=100 点を配点として評価する。				
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	授業内容について、テーマごとに行う体験等を踏まえて、自己および社会の振り返りを踏まえてレポートにまとめる。各回 12.5 点×8 回=100 点を配点として評価する。			コメントを付して返却する。	
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓					
	②	✓					
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	本科目の担当講師は、臨床心理士及び公認心理師資格を有し、21年の心理相談業務の経験がある。						
実践的授業の内容	心理相談業務の経験を通して、犯罪・非行の心理、社会的に迷惑をかけてしまうパーソナリティ障害等の心理社会的問題に触れて来た経験も活かして、唯一絶対の正解がない人間社会のコミュニケーション、あり様を学生が理解できるよう促す。						
そ の 他	登校授業（対面授業）であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。						